

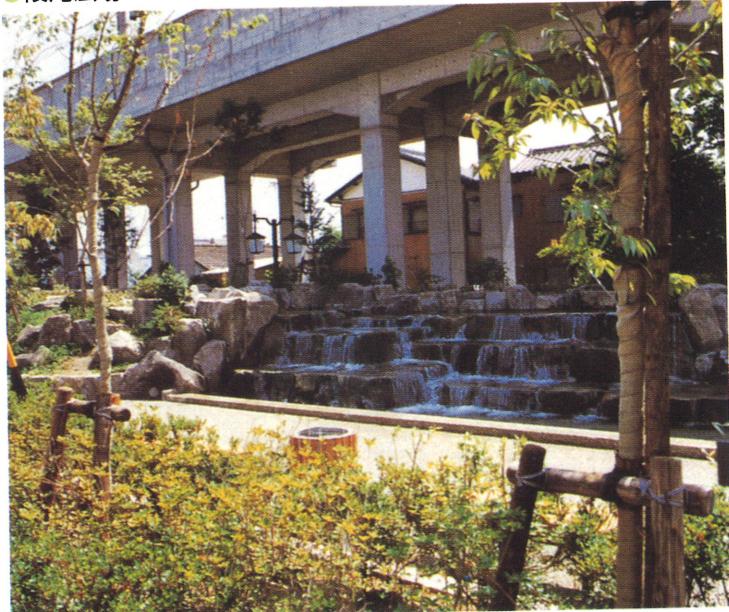
# 建設大臣賞

## ■若宮西町緑陰歩道整備事業 (表彰対象者: 愛知県豊田市)



“母なる矢作川”をシンボル化したせせらぎを時の流れに見て、上流を過去として自然的なイメージの曲線で構成し、下流は未来をイメージする直線を基調としている。

### 段滝広場



### せせらぎの小径



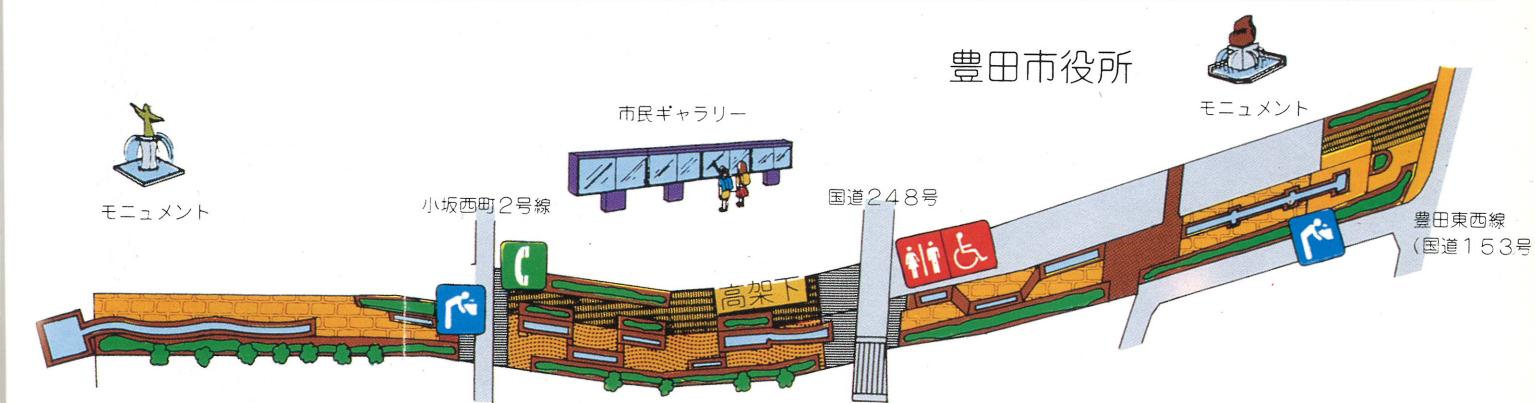
### せせらぎの源



### 横断歩道橋



## 西町緑陰歩道



### 親水テラス



### サインプレート



### モニュメント 「ひまわりの精」



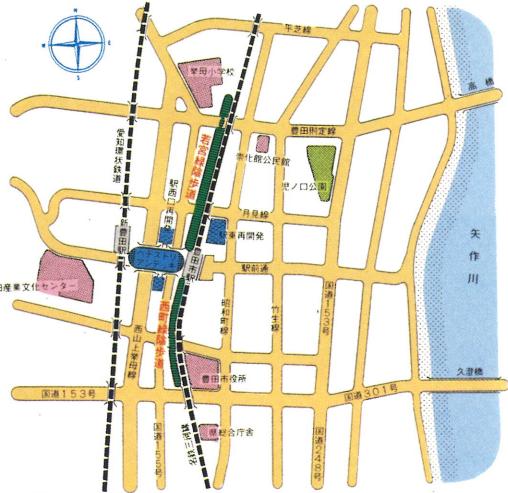
### ハッ橋池



## 事業のあらまし

この事業は、豊田市駅周辺におけるシンボリックな街づくりを行うべく、名鉄三河線の関連側道を水と緑豊かな歩行者専用道路として整備したものである。

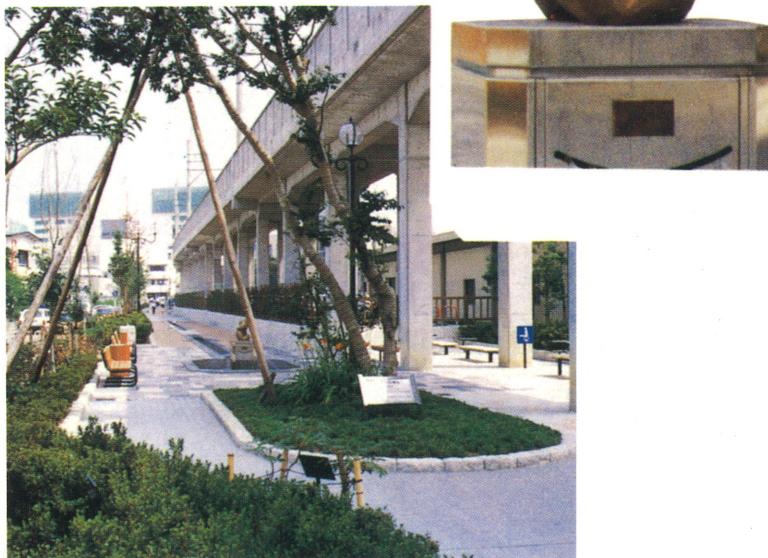
- ・延長 960m
- ・幅員 6~12m
- ・事業費 724百万円
- ・事業実施期間 昭和61年5月～昭和63年3月



●モニュメント  
「女」



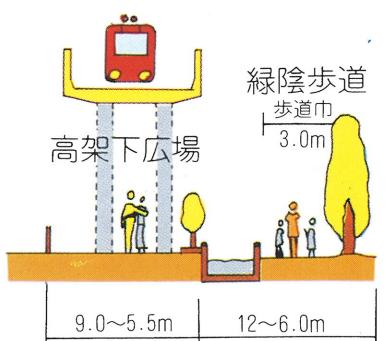
●四季桜と彫刻



●カナルの小径



緑陰歩道標準断面



## 高架下広場

緑陰歩道に隣接する鉄道高架下の空間を一体的に整備して、子供の遊び場や催し物の会場として利用している。

### ●木製遊具



### ●ストリート アスレチック



### 受賞の理由

この歩行者専用道路は、都心におけるアメニティゾーンとして“せせらぎ”と“みどり”に配慮がなされているだけでなく、高架下空間を子供の遊び場として一体的に活用するなど、ゆとりと潤いのある都市空間の創出のために、キメ細かな工夫が施されている。

### 受賞者の一言コメント

「流れが結ぶ活力、みどりそしてふれあい」を基本テーマに整備した本市の若宮・西町緑陰歩道が第1回全国街路事業コンクールにおいて建設大臣賞の栄誉に輝いたことは、本市はじめ街路事業に携わるものにとってまさに名誉なことであり、今後の都市づくりに大きな励みとなるものである。

### ●便 所

